

おぎ
だより

平成29年7月号

杉並区立井荻小学校

平成29年6月30日発行 No.588

総合的な学習の時間を通して感じたこと

教務主幹 小室 純子

子供たちは、総合的な学習の時間を通して、「善福寺川」について、それぞれの学年に応じた課題をもち、その課題を解決するために活動しています。調べたことをさらに深めたり、調べる内容を広げたりするために、外部の方を講師にお招きして話を聞く機会があります。

先日、「善福寺川と田んぼ」というお話を聞く機会がありました。5年生が善福寺川を調べてだけでなく、米作りも始めたということでお招きしたのです。

この辺りにも昔は水田が川沿いに広がっていたようですが、畑の方が多かったそうです。それは、善福寺川が湧水なので、米作りをするには水の量が足りなかったからです。（そのため、水の量に左右されない「おかぼ」という畑で育てるお米に大麦を混ぜたものが主食でした。）また、江戸から近い野菜の需要があることも大きな理由でした。それでも、人々は少しでも多くお米を作るために村でお金を出し合って用水を引いたそうです。それが、青梅街道沿いに作られた六ヶ村分水と言われるもので、青梅街道の下にトンネルを掘って水を流し、米作りに生かしていたそうです。

人々の努力や工夫により、この辺りでも田んぼが増え、お米が作られるようになったそうです。そして、田んぼは、お米がとれるだけでなく、多くの恵みを人々に与えていたことを教えていただきました。田んぼに水をためていることで気温が下がり夏も涼しかったそうです。また、雨水をためるという役割もありました。大雨が降っても雨

水が田んぼにためられるので、直接川に流れこまらず洪水を防ぐことができました。生き物の棲みかになり、どじょう、小魚、かえる、たにしが棲息し、ホタルも見られたそうです。のどかな田園風景は、人々の安らぎの景色だったかもしれません。それが、人口増加により水田が宅地化されたり、急に市街化が進み、川の汚れを加速させたりといった環境の変化が現在の善福寺川につながるのだと分かりました。

時代の変化に応じて人々の川に対する考え方が変わってきたことに驚きます。田んぼのあったころには、川は自分たちの生活に切っても切れない関係であったのに、都市化が進み、いつのまにかごみを捨ててもいい場所になり、今、それを振り返りまたきれいな川にもどそうとしています。子供たちは、その真っ只中において、コンクリート張りの善福寺川を目の前に、「なぜ、コンクリート張りにしたのか。」「コンクリート張りの良さは何か。」「洪水を防ぐ方法は？」「下水が川に流れ込むのを防ぐには。」など、様々な課題をもって調べ学習に取り組んでいます。そして、調べたことから自分たちにできることは何かを考え、社会とつながっている子供だちがすごいなと思います。また、それぞれが感じたことは、いつかどこかでつながるのだとも思いました。私も、子供たちの学習に関わっていたからこそ、講師の先生のお話がより深く理解でき、楽しむことができたのだと思います。目の前のことをないがしろにせず、一つ一つ自分のものにしていくことが人の成長（子供だけでなく、大人も・・・）には欠かせないと感じた出来事でした。

移動教室に行ってきました！

5月31日から3日間、5・6年生は弓ヶ浜移動教室（静岡県南伊豆町）に行ってきました。2日目の午前は、不安定な天候のため、サンドスキーは実施できませんでしたが、その他の予定していた行程はすべて実施することができました。班で協力して創り上げたサンドアート。多くの生き物と出会った磯観察。下田海中水族館でのイルカショー。そして、友達と過ごす部屋での時間…。仲間と共に築いた最高の思い出の数ページを紹介します。

下田海中水族館



イルカショーなどを楽しみました。

下田散策



ペリー艦隊来航記念碑。下田の歴史に触れました。

朝礼へ



美しい青い空と海、そして白い砂浜。

サンドアート



グループごとに一生懸命作品を製作しました。

磯観察



逢の浜海岸で、磯の生き物と触れあいました。

レクリエーション大会



活動班対抗でいろいろなゲームで盛り上がりました。

「どの子ども伸びる学校をめざして」

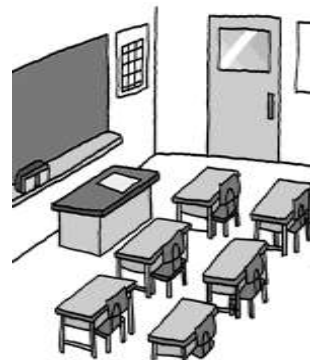
～今年度から始まった特別支援教室を通して～

井萩小学校校内委員会

1学期も終わりの月となりました。4月から新しい学年・学級になり、4、5月はドキドキして緊張感でいっぱいだった様子から、最近では良くも悪くも慣れてきた様子があります。

昨年度、校内委員会通信「ほっとほっとタイムズ」や3月の済美教育センター 保土澤先生からの「特別支援教室の説明会」でお話した「いおぎ教室」が5月から開級しました。いおぎ教室では、巡回指導教員と1対1の個別の学習、ソーシャルスキルトレーニングや小集団での学習をしています。学習をしている子供達は、個々にあった指導を受けて楽しく学習を進めています。

いおぎ教室で学習している子供も学級で授業を受けている子供達も、場所が違ってその時間を一生懸命取り組んでいるということが大切なのです。今、お互いの違いを認めつつ、共に良さを認め合う人間関係が重要です。



学校は集団生活の場です。個々の子供の力を伸ばすためにもどの子ども認めあえる学級集団作りが大切で、学校としても力を注いでいます。ただ、その集団を作るのは実は、一人ひとりの子供達なのです。

「人の弱さを受け入れることのできる子供」「いいこと悪いことを判断し、相手にきちんと伝えることができる子供」とは「こんな言葉を言われたら、相手はどんな気持ちになるだろう」と想像することができる子供です。自分のわがままを抑えて人のために行動すること、人を喜ばせることは、こんなにも気持ちいいことなのだという体験も必要だと思います。そして、どの子ども大切な一人の人間であり、大切に扱われなければならない存在であることもしっかり伝えて行きたいものです。ご家庭でも、一人ひとりの子供にそんな体験や対話をお願いします。

“どの子ども伸びる学校をめざし”、保護者の方々とも話し合いをもち、連携しながら進めていきたいと思えます。

学校評議員のご紹介

今年度、杉並区教育委員会より委嘱を受け、井萩小学校の学校評議員を担当して下さる皆様が決まりましたので、ご紹介いたします。

清水 汎	井萩三丁目町会会長	岩淵 晴子	学校支援本部事務局長
	震災救援所会長	中谷 理彩子	学校支援本部広報部長
田中 奈那子	元教育委員	澤地 さちえ	前主任児童委員
東海林 孝吉	第15代校長		地域協力者
山中 由也	早稲田大学教授	稲富 太志	元PTA会長
二村 好彦	元PTA会長	会田 洋子	青少年委員
	(井萩小野球部監督)	酒井 かおり	PTA会長
加藤 友子	主任児童委員		(敬称略)

一年間の任期で、地域に開かれた学校づくりの推進と本校児童の健やかな成長を見守っていただきます。よろしくをお願いします。

7月行事予定

1	土	いおぎまつり（学校公開）	
2	日		
3	月	委員会 水道キャラバン（4年） 荻中生による読み聞かせ お話会	
4	火	保護者会（4、5、6年） 社会科見学（3年） 小児生活習慣病予防検診説明会	
5	水		
6	木	都・学力調査（5年） 口腔保健指導（3年）	
7	金	保護者会（1、2、3年） SC 心の劇場（6年）	
8	土	土曜クラブチャレンジキッズ	
9	日		
10	月	安全指導 クラブ	
11	火	避難訓練（不審者対応） SNS教室（4、5、6年）	
12	水	ふれあいタイム 荻中授業体験（6年）	
13	木	給食終了 お話会 SC	
14	金	終業式・大掃除	
15	土	いおぎ夏まつり、土曜クラブ囲碁	
16	日		
17	月	海の日	
18	火	夏期休業日・前期水泳指導・個人面談・ パワーアップ教室始 ★	
19	水		
20	木		
21	金		
22	土	土曜クラブお箏・生け花、お囃子	
23	日		
24	月		
25	火		
26	水		
27	木		
28	金	前期水泳指導・個人面談・ パワーアップ教室始	
29	土	小中未来サミット	
30	日		
31	月		

給食費引き落とし日・・・★

スクールカウンセラー来校日・・・SC

今年度は、夏季休業中にトイレの改修工事が
あります。児童の安全確保のため、校庭開放は行い
ません。よろしくお願いします。

7月の生活目標

整理整頓と掃除で

心もピカピカにしよう

生活指導部 中倉 駿

子供の気持ちになって、生活目標を読んでもみると、「整理整頓と掃除が大切なのは分かるけど、整理整頓と掃除で心がピカピカになるかな？」という疑問が生まれました。

頑張って掃除をして、その場所が綺麗になると気持ち良くなります。でも最初の1歩、始める時に気が乗らないこともあります。その点、井荻小の子供たちは、時間になったら全校が掃除モードになり、一斉に掃除が始まります。自分たちの学校を自分たちで綺麗にするということが、実践できていることが素晴らしいです。低学年の子供たちも、上級生の姿を見よう見まねして掃除が上達してきています。

最初の疑問に戻ります。掃除や整理整頓には、綺麗になって気持ちがよくなるというだけでなく、自信がつくという面もあります。掃除で自信？と思うかもしれませんが、掃除に限らず毎日の習慣として何かを“成功させる”ということが潜在的な自信の向上につながるそうです。ある国のスポーツの代表チームは、朝のベッドメイクが日課になっており、しわ一つなく“成功させる”までしっかり行い、代表チームの一員としての自信をもたせるということを実践しています。

毎日の整理整頓・掃除を“成功させ”学校を綺麗にし、気持ちもよくし、心もピカピカ（自信をつけて）にしていけるよう、子供たちと共に磨きをかけていきます。

いおぎまつり
参観ありがとうございました！

